



## 「見える」ために必要な様々な「見る力」



私たちの見る活動を支えている主な視覚に関する機能は、①「視力」、②「目の運動機能」として、注視・眼球運動（一点を集中して見つめたり、すばやく正確に視線を移動させたりする力）、両眼視（両目のチームワーク）、調節（ピント合わせをする機能）、③「視覚情報処理機能」として、形態知覚（形をまとまりとして理解する力）や空間知覚（見ているものの位置を把握する力）、目と手の協応（目と手を連携させて動かす力）などがあげられます。



学習や運動、生活の中でうまくいかないことがあり、苦勞している方もいらっしゃると思いますが、その背景には、見る力のうちのどれか1つ、または複数が原因となる可能性があります。



読みが  
苦手



書きが  
苦手



黒板を写す  
のが苦手



図形が苦手



球技が苦手  
階段が怖い

「見る力」に弱さがある児童生徒が意欲をもって学習に取り組むには、環境調整と視覚発達支援の両方が必要です。



### 情報保障のための「環境調整」(外的視覚条件の支援)



- ①**教材の拡大** 個々の児童生徒の状態に合わせて、どの程度拡大すればよいか選定する。
- ②**コントラストや色** コントラストを高くし、色を使って、重要な部分や区別する部分を理解しやすくする。コピーの切り貼りや、コピーを繰り返した資料は、わかりにくい。
- ③**単純化** 重要度の低い部分を省略して大事な部分のみに絞る。
- ④**スペース、情報の配置** 文章や図表、解答欄は、整然かつ明瞭な配置にする必要がある。文字や図表が詰まらないようにする。
- ⑤**教材・教具** 見やすく使いやすいものを使用する。

参考文献 「学習につまずく子どもの見る力 視力がよいのに見る力が弱い原因とその支援」 玉井浩監修 明治図書

※視覚発達支援は、遊びや日常生活の中でも行えます。継続的にビジョントレーニングを取り組むことが望ましいです。

群馬県立館林高等特別支援学校 専門アドバイザー 藤井 絵美  
〒374-0046 群馬県館林市上三林町197番地  
Tel 0276-71-1000  
<https://kankoutoku-ses.gsn.ed.jp>

電話相談、メール相談、  
来校相談、訪問相談、  
受け付けています。  
お気軽にどうぞ。